

衛隊明記」ですが、これだけでは、今抱えている問題は先送りされるだけです。

しかし、自衛隊の根本的性格はどうするのか、法律で不足している部分をどの様にカバーするのかを併せては論議されるならば、大変意味あるものとなるではないかと思えます。以上

4 事務局からのお知らせ・会員拡大のお願い! (支部事務局長小熊)

当支部では、誇りある国づくり運動を展開していくため①日本会議会員(日本の息吹購読者)②支部会員(活動協力金提供者)拡大を目指しています。毎年11月、会員拡大の為「日本の誇りセミナー」を開催しています。今年は「11月17日(日)14時」から「ほんぼーと(新潟市立中央図書館)」にて、下記のとおり開催します。

この機会に皆さんの友人・知人に声がけし、会員拡大にご協力いただきますようお願いいたします。
*「会員申込」は事務局にご連絡下さい。(☎025-384-0252)

無料 講演1 日本の誇りセミナー「大東亜戦争について」(14時~15時20分)

講師:東京祖国と青年の会代表 和田浩幸氏

無料 講演2「シベリヤ抑留問題」(15時20分~16時) 講師:近藤建支部長

我七十路に至り天命を知る。

世の中には忘れていい事、いけない事といろいろある。

日本人として絶対忘れてはいけない事が私の人生の使命となった。天が与えてくれた使命即ち天命は「シベリヤ抑留問題」の解明とその御魂の供養である。

文では思いを書き尽せないが私の天命は、一歩ずつこのテーマに向けて行動し続ける事である。この運動を広げて行き、その内多くの賛同者と共に歩める日を目指して行く。

シベリヤ抑留悲劇の解明に向かい、「今」最初の一步を踏み出した所である。私の思いを話す機会を得られる事に感謝している。



5 コ ラ ム 戦史資料館館長 本里 福治 氏

現憲法は憲法もどき

現憲法を、現憲法の改正条項にのっとって改正することは、憲法もどきを憲法と認めることとなる。

一方、命を懸けて日本を守っている自衛隊を「違憲かもしれない」という不名誉から解放することにもなる。このマイナスとプラスを合算して考えた時、プラスの方が大きいと、私は考える。よって、現憲法は改正すべきだ。

しかし、もともと日本に憲法は必要なのだろうか。大日本帝国憲法は、「欽定憲法」という。それとて、開国した日本が諸外国に伍していくため、作らざるを得なかったものである。それまでの2千4百年にわたって、日本には憲法などなかった。それで一向に困らなかったではないか。なぜなら、我々の真の憲法は神武天皇が降せられた「建国の詔」であったからだ。

憲法とかけてなんと解く。「髪の毛と解く。」

その心は、…なくても困らないがあった方が格好がいい。禿もどきの私が言うのだから、間違いはない。

編集後記

日本では七十余年、平和な時代を過ごすことが出来たが、人類有史以来、地上のどこかで争いは絶え間なく続いていると言う。その原因を評論家は、エネルギー問題、宗教問題にあると言う。しかし筆者は、以前に耳にした「戦争は天敵を持たない人類の宿命~」と言うコメントの方が腑におちる。世界中で点滅している黄信号・赤信号を人智で青信号に変えている事態がいかにかいとか。

しかし、人類の宿命となれば常に備えることが必要である。明治の日本を旅したイギリスの旅行家イザベラ・バードは、日本人の死生観を「昨日と変わらぬ今日に感謝し、今日と変わらぬ明日を願う~」と称している。その為にも備えは必要であり、備えとは国防である。(寺澤記)

・三時間 待つて病名 「か齢です」
・目覚しの ベルはまだかど起きて待つ
・起きたけど 寝るまで特に用もなし
(抜粋)